

信濃川水系流域治水プロジェクト(千曲川・信濃川)【位置図】

～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～

R5.3月末時点



信濃川水系流域治水プロジェクト（千曲川・信濃川）【ロードマップ】

～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～

■信濃川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短 期】令和元年東日本台風洪水、平成23年7月新潟・福島豪雨といった戦後最大規模の洪水に対し、

信濃川上流(千曲川)は堤防整備・強化及び水位低下を目的として狭窄部(立ヶ花等)の流下能力向上を含めた河道掘削、遊水地等の整備や雨水貯留施設等の整備を推進し、千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止。

信濃川中流は、狭窄部(大河津分水路河口部)の流下能力向上(山地部掘削、第二床固改築等)や遊水地等の整備、排水ポンプ、雨水貯留施設等の整備、田んぼダムの取組等を推進する。

信濃川下流では、新潟市街地等での重大な災害の発生を未然に防ぐため、河道掘削、堤防整備(もぐり橋解消、やすらぎ堤構成)、排水ポンプや雨水貯留施設等の整備、田んぼダムの取組等を推進する。

また、浸水被害が発生した場合、被害が広域化・長期化する等の地域的特徴を踏まえ、都市計画マスタープラン等に基づく災害に強いまちづくりの推進や、確実な避難のためのマイ・タイムラインの活用、河川防災ステーション等の防災拠点の整備等を推進する。

【中 長 期】令和元年東日本台風洪水、平成23年7月新潟・福島豪雨といった戦後最大規模の洪水に対し、

信濃川上流(千曲川)は、家屋部で越水による浸水が発生しないよう更なる水位低下を目指して河道掘削、堤防整備、遊水地、大町ダム等再編等を推進し、災害発生の防止又は軽減を図る。

信濃川中流は、狭窄部(大河津分水路河口部)の流下能力向上(山地部掘削、第二床固改築等)や長岡市街地等での重大な災害の発生を防ぐための河道掘削等を推進する。

信濃川下流では、新潟市街地等での重大な災害の発生を未然に防ぎ、支派川の負担軽減のため、河道掘削やもぐり橋解消(小須戸橋架替・築堤)を推進する。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	戦後最大洪水等による浸水被害を軽減するための河川改修、洪水調節施設整備等	国交省、県、電力事業者	信濃川水系緊急治水対策プロジェクト 大町ダム等再編事業	遊水地完成 土砂対策設備完成 洪水調節操作の実施条件が整い次第、治水効果を発現
	信濃川中流(堤防整備・強化、河道掘削、遊水地整備、大河津分水路改修事業の推進等)	国交省、県	信濃川水系緊急治水対策プロジェクト	遊水地等完成 第二床固完成 大河津分水路改修事業
	信濃川下流(堤防整備、河道掘削、小須戸橋架替事業の推進等)	国交省、県、市町村	小須戸橋架替事業	事業完成 小須戸橋架替、築堤完成
	排水機場、雨水貯留施設、排水ポンプ等の整備、田んぼダムの取組推進等	国交省、農水省、県、市町村		
	砂防関係施設の整備	国交省、県		
	海岸保全施設の整備	国交省		
	森林整備(※)・治山対策 ※グリーンインフラと関連	林野庁、県、森林整備センター		
	被害対象を減少させるための対策	県、市町村		
	高床式住まい・住宅かさ上げ等の推進	市町村		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	国交省、市町村		河川防災ステーション(長沼地区/長岡地区/天野地区)完成
被災対象を減少させるための対策	「まちづくり」による水害に強い地域への誘導	県、市町村		
	高床式住まい・住宅かさ上げ等の推進	市町村		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	国交省、市町村		
被災対象を減少させるための対策	河川防災ステーション等の防災拠点の整備	国交省、市町村		河川防災ステーション(長沼地区/長岡地区/天野地区)完成
	マイ・タイムライン等の活用による防災知識の普及	国交省、県、市町村		
	要配慮者施設の避難に関する取組	国交省、県、市町村		
グリーンインフラの取組	千曲川(自然再生、千曲川北信5市町かわまちづくり、千曲川×依田川地区かわまちづくり、千曲川×戸倉地区かわまちづくり、大石川かわまちづくり)	国交省、県、市町村	自然再生 かわまちづくり	千曲川×依田川地区 千曲川北信5市町 千曲川×戸倉地区 大石川
	信濃川中流(魚道整備、多様な生物の生息環境への配慮、生態系ネットワークの形成)	国交省、県、市町村	多様な生物の生息環境への配慮 魚道整備(大河津分水路改修事業)等	越後平野生態系ネットワークの形成
	信濃川下流(湿地環境の創出、水辺の賑わい空間の創出、生態系ネットワークの形成)	国交省、県、市町村		
【事業規模】				

気候変動
を踏まえた
更なる対策
を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

■河川対策

全体事業費 約7,409億円 ※今後、調査・検討のうえ、必要な対策として実施する
洪水調節機能の向上の費用は含んでいない。

対策内容 河道掘削、遊水地、堤防整備、堤防強化、護岸整備、放水路整備、(信濃川水系直轄砂防事業及び浅間山直轄火山砂防事業として)※新潟海岸直轄海岸保全施設整備事業として
排水機場整備、河川管理施設耐震対策、河川防災ステーション、橋梁架替、灾害復旧、大河津分水路改修、大町ダム等再編、裾花川流域ダム再生事業等

■砂防対策

全体事業費 約1,131億円

対策内容 対策内容 砂防関係施設の整備等

■海岸対策

全体事業費 63億円※

対策内容

■下水道対策

全体事業費 約816億円

対策内容 排水ポンプ、雨水貯留施設整備等

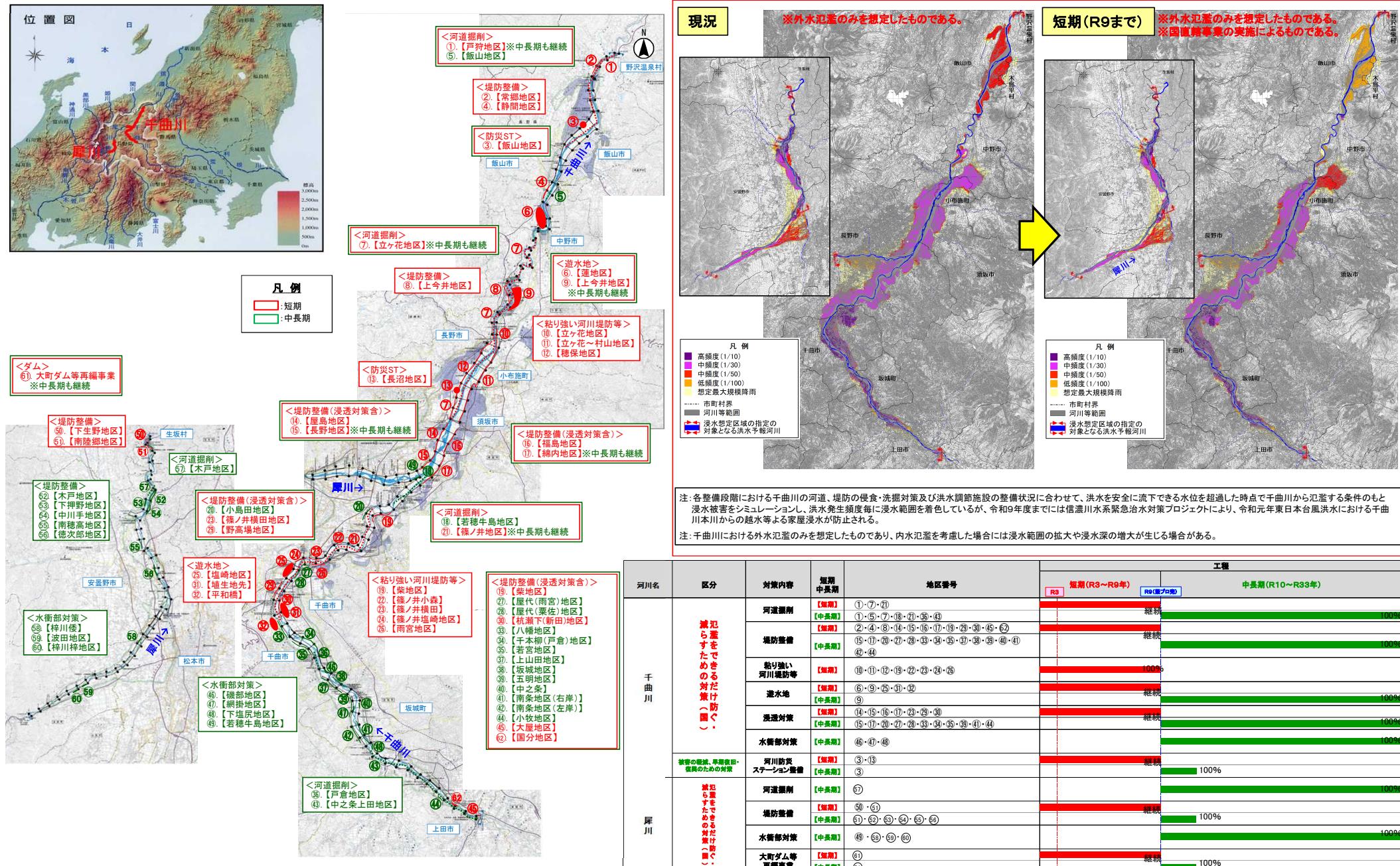
信濃川水系流域治水プロジェクト（千曲川）【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となつた防災・減災対策の推進～

R5.3月末時点

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトによる河道掘削、遊水地整備等により、令和9年度までに令和元年東日本台風洪水における千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止。

短期整備(5か年加速化対策)効果 ：河川整備率 約44.4%→約50.6%

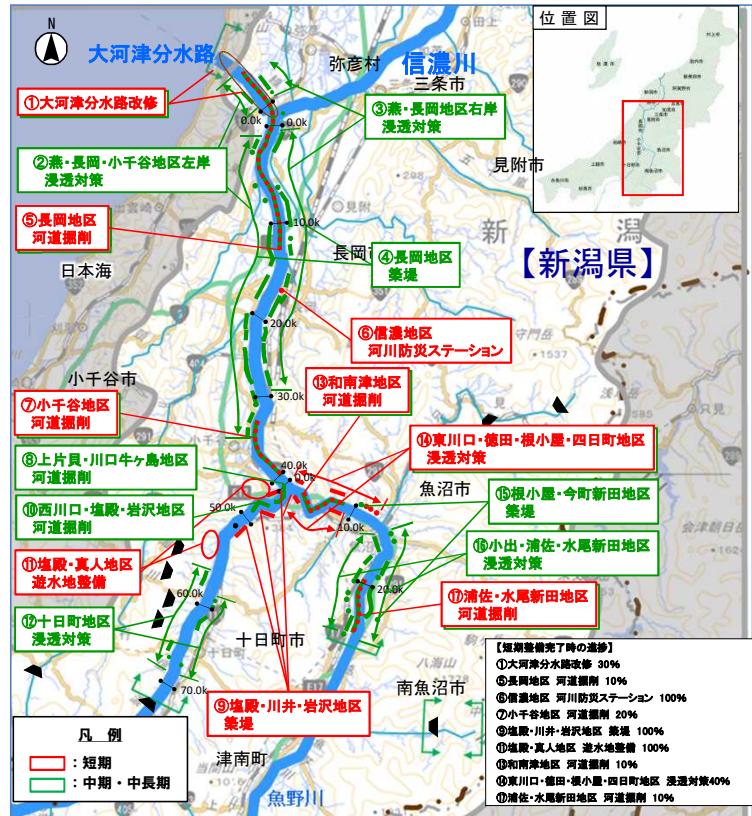


信濃川水系流域治水プロジェクト（信濃川）【事業効果（国直轄区間）の見える化】

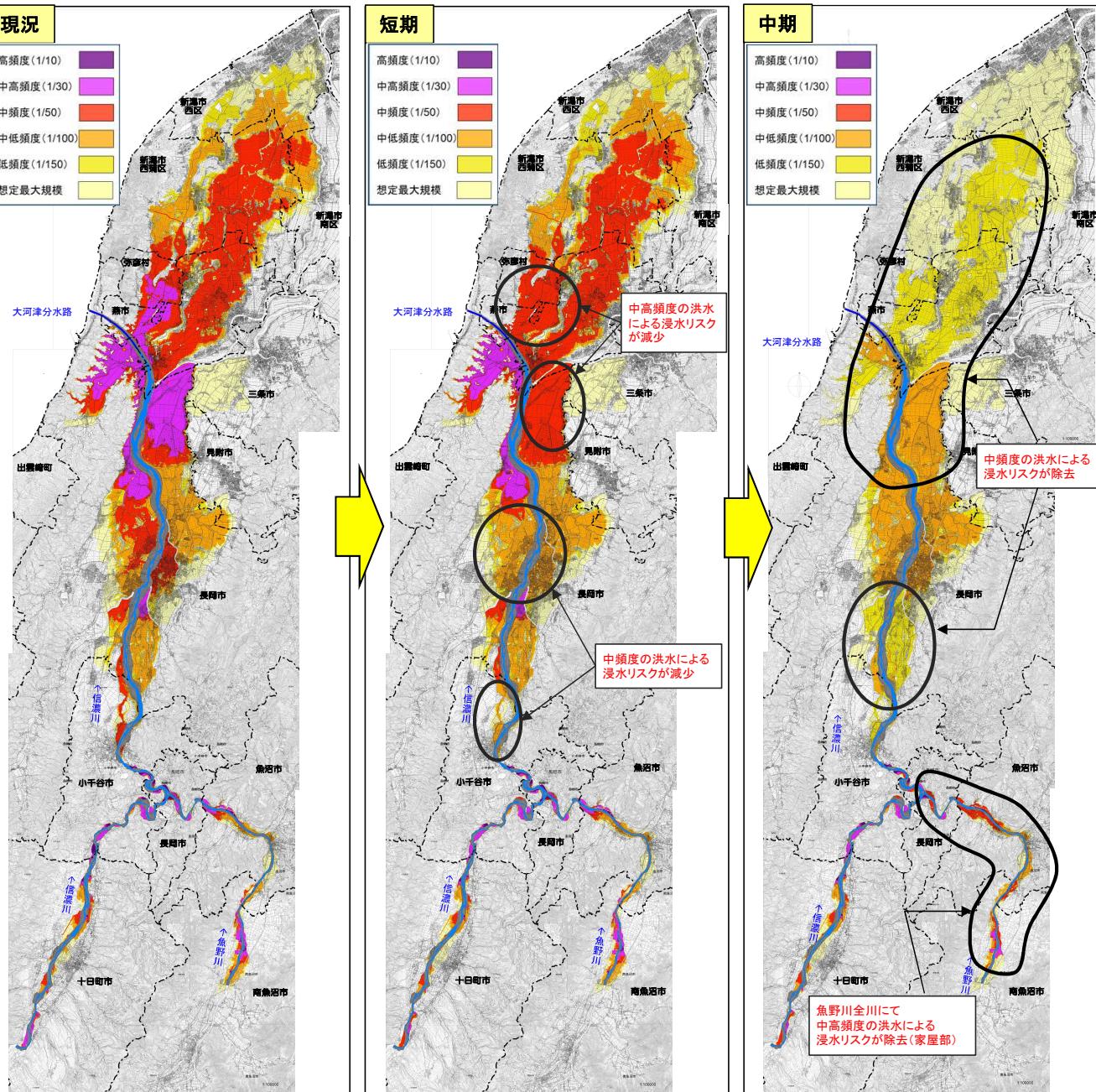
～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～

R5.3月末時点

大河津分水路「令和の大改修」を推進し、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトによる堤防整備、河道掘削、遊水地の整備等により、上下流バランスを確保しつつ、令和元年東日本台風洪水に対する信濃川本川の越水等による家屋部の浸水を防止。



短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約62.3%→約63.9%



*遊水機能の保全・向上と土地利用や住まい方の工夫といった方策を合わせた治水対策の実施を検討している区間を含む。

*スケジュール等については、今後の事業進捗により変更となる場合がある。

*浸水深が0m以上の範囲を表示している。

*国直轄区間における外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

*今後、調査・検討のうえ、必要な対策として実施する洪水調節機能の向上の効果は含んでいない。

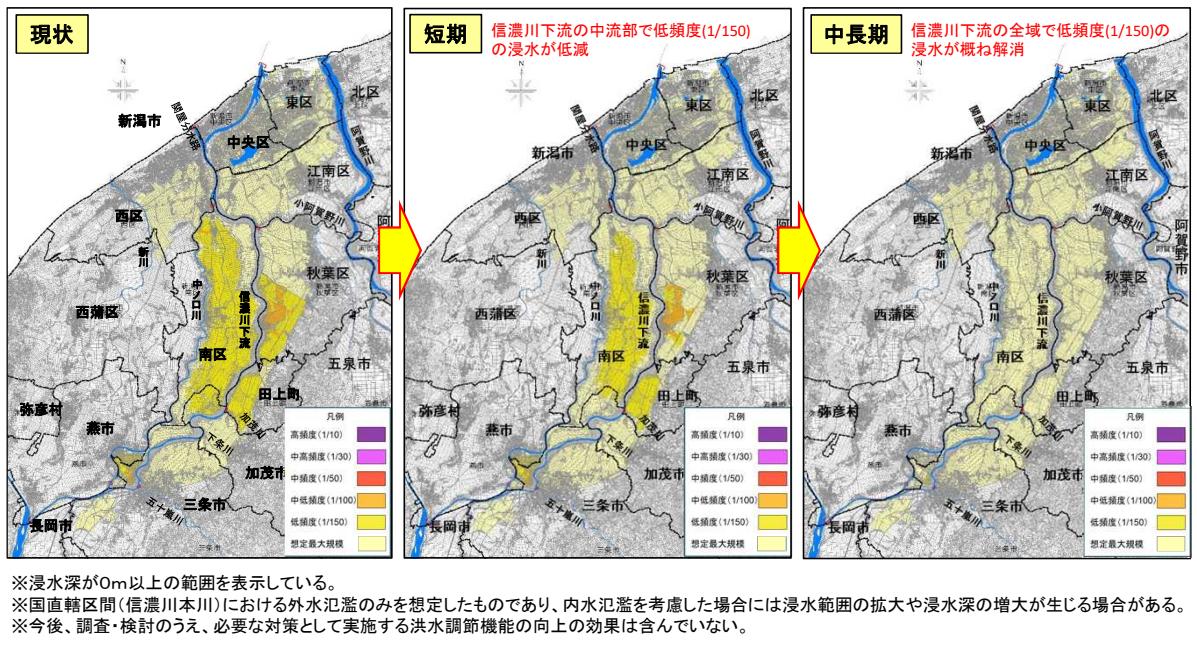
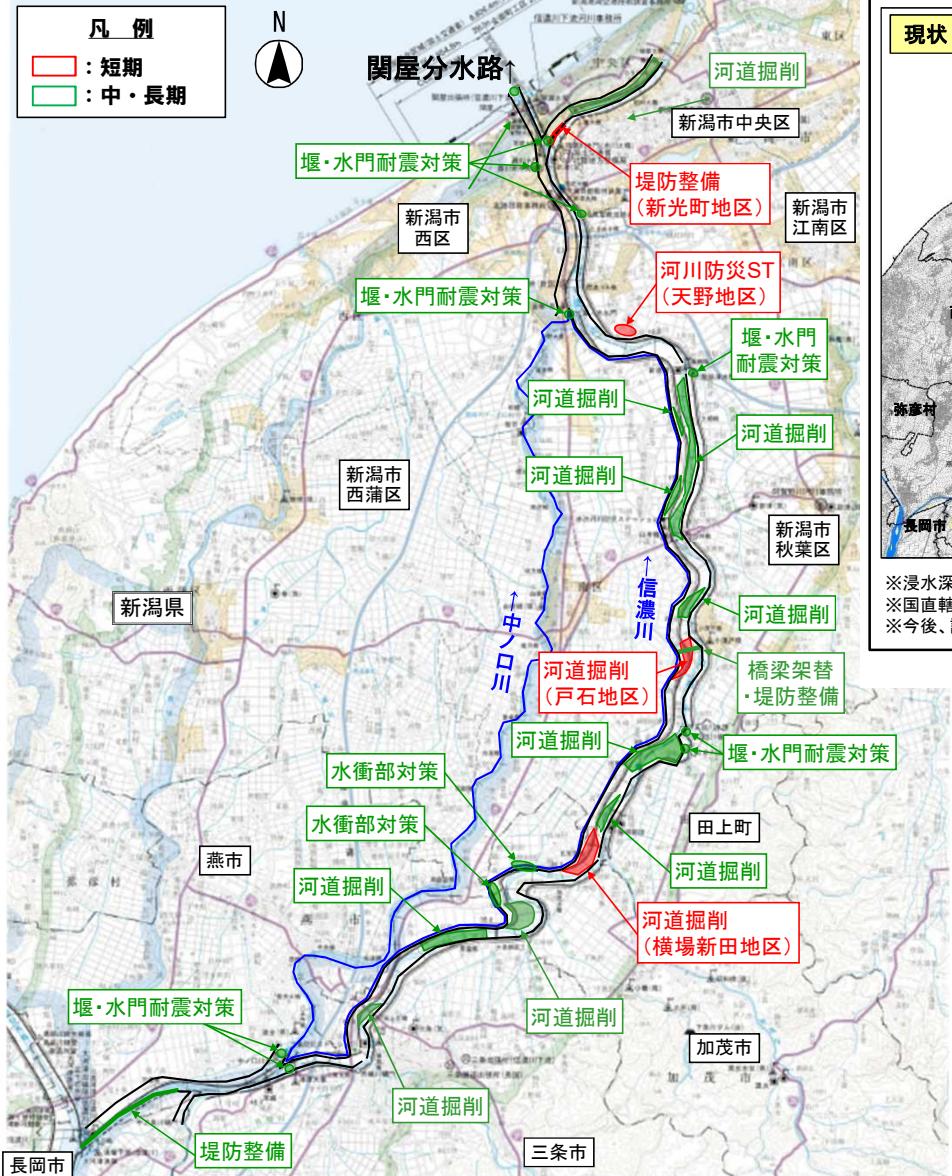
信濃川水系流域治水プロジェクト（信濃川下流）【事業効果（国直轄管理区間）の見える化】

～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～

R5.3月末時点

- 短期整備として、戸石地区、横場新田地区の河道掘削を完了させることで、信濃川本川中流部の浸水被害の軽減を図るとともに、信濃川本川下流の新光町地区の築堤及び天野河川防災ステーションの整備を完了させ、治水安全度の向上を図る。
- 中長期整備として、新潟市街地等での重大な災害の発生を未然に防ぎ、支派川の負担軽減のため、河道掘削やもぐり橋解消（小須戸橋架替・築堤）を推進する。

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約47.3%→約58.4%



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

信濃川水系流域治水プロジェクト（千曲川・信濃川）【流域治水の具体的な取組】

～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～

R5.3月末時点

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：
千曲川 50.6%
信濃川中流 63.9%
信濃川下流 58.4%
(概ね5か年後)

農地・農業用施設の活用



36市町村
(令和4年度末時点)

流出抑制対策の実施



26施設
(令和3年度実施分)

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所
(令和4年度実施分)
砂防関連施設の
整備数
(令和4年度完成分)
※施工中 77施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



2市町村
(令和4年12月末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域
(令和4年9月末時点)
※一部、令和4年3月末時点
内水浸水想定
区域
(令和4年9月末時点)
259河川
1団体

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 土砂 635施設
(令和4年9月末時点)

個別避難計画 24市町村
(令和4年1月1日時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

大河津分水路改修(河川整備)

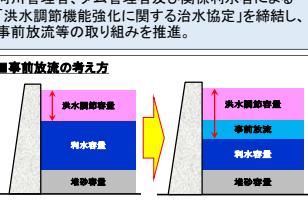
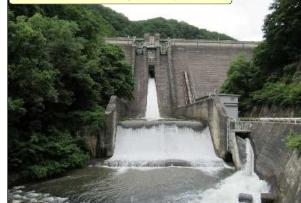
信濃川中流最下流部でボトルネックとなっている大河津分水路河口部の拡幅を実施し、上流への水位のせき上げや堤防決壊のリスクを解消及び上流区間での改修を着手・推進を図る。



ダムの事前放流(流出抑制対策の実施)

洪水発生前に大雨に備えて利水容量の一部を事前に放流し、洪水調節のための容量として活用。

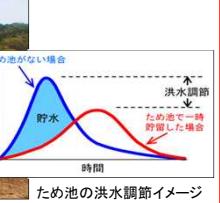
奥掘花ダムにおける事前放流実施状況



農業用ため池の活用(流出抑制対策の実施)

ため池の貯水位を下げ、空き容量を確保することにより、降雨時の流入を一時的に貯留させ、河川の流出量を抑制。

長野市浅川大池(低水位管理の様子)

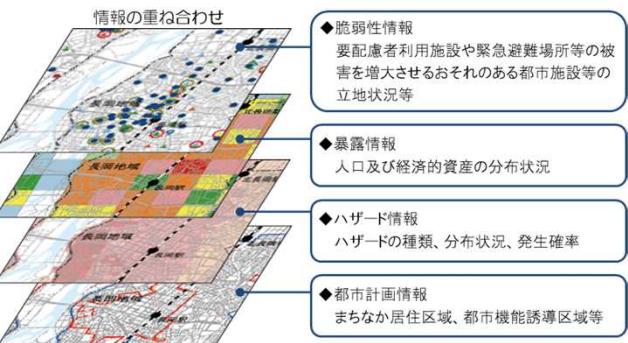


被害対象を減少させるための対策

水害に強い地域づくりのためのまちづくり方策検討・リスク情報の充実

浸水等ハザードの程度・起こりやすさ、ハザードを被る人命・資産（暴露情報）及び被害の受けやすさ（脆弱性情報）の総合的な評価及び河川等の防災施設整備の方向性等を踏まえたまちづくり方策を検討。

対策・検討イメージ



災害に伴う被害リスクをエリア毎に評価することで、地域別のリスク傾向を分析・評価する。

住まい方の工夫(高床式住まいの推進)

克雪対策として実施しているによる高床式住宅への補助を、浸水被害の軽減に資する対策としても普及・促進

家屋の基礎部分を
鉄筋コンクリートで高床化



対策イメージ

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

河川防災ステーション(防災拠点の整備)

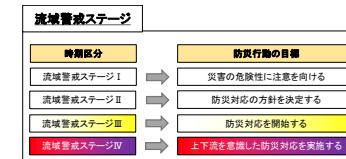


信濃川水系の洪水被害を最小限とするため、災害時の活動拠点となる河川防災ステーションの整備を推進。また、イベント時の活用のほか、防災訓練や防災学習の場としての活用など、平常時の利活用を推進することで、地域の賑わいづくり及び防災に対する意識向上を図る。

流域タイムラインやコミュニティ・タイムライン等の活用

【流域タイムライン】

流域全体で危機感を共有し、各機関が流域の警戒ステージに応じた防災行動計画を整理・作成し、災害発生の的確な行動を促進。



千曲川・犀川流域
(緊急対応) タイムラインの実施状況

【コミュニティ・タイムライン】

国、自治体、地域住民の協働で作成する、地域単位での避難行動計画を作成。

【令和4年度の実績】

- 長野市長沼地区【作成済】
- 須坂市北相之島地区【作成済】



長野市長沼地区的取組状況